

聖霊降臨節第23週 主日礼拝

2016年10月16日 第一礼拝(午前8:00～) 第二礼拝(午前10:30～) 夕拝(しばらく休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『民数記』14章6-9節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌2「たたえよ救い主イエスを」(b2)	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌259「聖いふみは教える」	—	同
聖書朗読	『ヨシュア記』14章6-15節(旧約392頁)	司会者	
黙想	—	同
メッセージ	「あの山を与えたまえと45年」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌398「新しき地に」(b2)	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	片山 勝三兄	
諸案内	(来信および集会案内)	
諸報告	(来会者紹介、報告および暗唱聖句)	司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父御子御霊の」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会・説教：近伸之牧師	演奏機：片山 勝三兄	献金：沼田佐代子姉
司会	：山崎 敬典兄	音響・録音：片山 健司兄	C S 担当：近伸之牧師
集会	：小山 千春姉		
映像	：近伸之牧師	録画：近伸之牧師	掃除：長谷川睦子姉

説教メモ

- 1) 85歳のカレブは、45年間ひたすら主の約束を見つめ続けてきた。次の世代に、信仰の模範を残そう。
- 2) 少子高齢化を必要以上に恐れる教会にはなりたくない。むしろ宣教の門が開かれたと受け止めたい。
- 3) 半世紀以上前、導かれた子どもたちがいた。彼らが教会に導かれるよう、宣教の責任を果たしていこう。

先週のみことば

ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。
(使徒16章31節)

今週のみことば

どうか今、【主】があの日約束されたこの山地を私に与えてください。
(ヨシュア14章12節a)

個人、団体からの来信

2016年10月16日

PBAよりDVD/宣教区壮年会の報告/宣教区婦人会連絡会報告/
「開拓・未自立教会支援デー」の案内[11月26日(土)]/敬和学園大学よりオープンカレッジの案内/
アブラハムのしもべ会主催「鍋パーティーの案内」[12月4日(日)]/TCUより領収書

先週の集会出席者数

10/9(日)	教会学校および第一礼拝は休会			
			※月に一回、実用書道教室を開催	
	特別伝道礼拝	男15 女32 計47	10/10(月・祝)	月曜家庭集会 (休会)
	(子ども)	男児1 女児4	10/12(水)	阿賀野祈禱会 男3 女6
午後の集まり、参加延べ人数		男16 女34 延べ50	10/14(金)	しゃべり場タビタ 男- 女5 男児1
	(子ども)	男児1 女児4	10/14(金)	金曜祈禱会 男- 女4

諸集会のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
10/17(月)午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
10/19(水)	(祈禱会は金曜日に合流します)		
10/20(木)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅	問合先：渡邊 智子姉
10/21(金)午後7:00	バザー準備	※準備開始前に、奨励と祈禱	

10/23(日) 聖霊降臨節第24週

※第一礼拝と教会学校はお休み			
奉仕者の祈り会 午前9:30			
歓迎礼拝	司会：横堀 正美兄	賛美・音響：賛美チーム	感謝祈禱：片山 敬子姉
午前10:00	集会：笹川 清子姉	録音：片山 勝三兄	
	映像：近伸之牧師	録画：近伸之牧師	掃除：横堀 信子姉
礼拝について	聖書『サムエル記 第一』16章1～23節 応答：208 頌栄：198 派遣：54		
午後の予定	午前11:30～正午	バザーの会場を準備	
	正午～午後3時頃	バザー	
※諸般の事情により、夕拝はしばらくの間休会とします。			

報告

1. 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。みことばを味わいつつ一週間を歩みましょう。本日は第三週ですが、カナン訪問はお休みして、来週に控えた教会バザーの準備などを行います。ご協力をお願いします。
2. 当教会45周年記念行事の感謝
先週は、下川先生ご夫妻を迎えて特別礼拝および記念茶話会を持つことができました。本日昼食時に記念会の感想会を持ちますので、よろしくお祈りします。
3. 先週の来会者
10月9日(日)特別礼拝に倉島幹夫さん、辻 美緒さん(敬和高3年)、宮本夕佳さん(敬和高3年)、斉藤行雄兄、斉藤美佐子姉、斉藤智佐姉、斉藤優子さんが出席され、近隣教会から12名ほどの方々がお祝いの席に連なってくださいました。感謝します。

「人生は、重き荷を負って遠き道を往くが如し」と言ったのは徳川家康だそうです。ちょっと今どきマイナーな感じがしますが、現実の厳しさに直面したときなど、なるほど、人生を見事に言い当てているな、と思わせられます。

小学校一年生の黒田実くんは、こんな一行詩をつくりました。
「ぼくたちみんな、うれしいみだがでるまでは、たびびとです。」
六歳の子の詩だろうか、と驚いてしまいます。

「人生は旅である」といったのは松尾芭蕉です。吉川英治氏は、「人生は旅である。しかも、この旅は、片道切符の旅である」と言いました。すなわち、オギャーと生まれた時が人生の旅の始発駅であり、「ウーン」といって大往生をとげる時が、人生の終着駅となる、というわけです。片道切符の旅というのも、人生を見事に言い当てています。

ところで、人生、行って帰ってきた人の報告がないものですから、何のためにこう苦労しなければならないのか、なぜこうもつらいことばかりあるのか、と不可解になってしまいます。

お互いの人生の旅は快調でしょうか。楽しい旅も、ビジネスの旅も、みな目的があるように、人生の旅についても、はっきりとした目的、はっきりとし

たゴールを持って歩みたいものです。ましてや、片道切符であるとなれば、確実にその目的を果たしたいのです。

今、自分がどこに向かって生きているのかがはっきりしさえすれば、現実の苦勞も、大いに意義あるものとなるのではないのでしょうか。

キリストは人々は向かって、こう言われました。
「時が満ち、神の国は近くなった。
悔い改めて福音を信じなさい。」
(マルコの福音書1:15)

神さまは、私たちすべての人に「神の国」を備えておられます。また、キリストは十字架につけられる前の夜、弟子たちにこう言われました。
「わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。…あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。」
(ヨハネの福音書14:2)

私たちのゴールは、ここにはっきりしています。お互い、このゴールをめざして励んでいきましょう。神の国は「飢えることもなく、渴くこともなく、太陽もどんな炎熱も彼らを打つことはありません。…また、神は彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってくださるのです。」(ヨハネの黙示録7:16、17)というところなのです。



ぶどう 葡萄食ふ

一語一語の如くにて

(中村草田男)

2016年度教会目標 「信仰の家族に善きことを」

年間目標 それぞれに違った賜物を与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「機会のあるあだに、すべての人に対して、特に信仰の家族の人たちに善を行いましょう」(ガラ6:10)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



10/22(土)ライフ・ラインのつどい in 福島
「悲しみが祝福に」岩井基雄牧師

福島県会津若松市で行った「ライフ・ラインのつどい」の様子をお届けします。つどいでは、岩井基雄牧師がマタイの福音書5章3、4節から「悲しみが祝福に」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。また、声楽家(バリトン)の野村光洋さんのコンサートも行われました。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

